

\*File 347: JAPIO data problems with year 2000 records are now fixed.  
Alerts have been run. See HELP NEWS 347 for details.

|     | Set            | Items | Description    |
|-----|----------------|-------|----------------|
|     | ---            | ----- | -----          |
| ? S | PN=44006397    |       |                |
|     | S1             | 0     | PN=44006397    |
| ? S | PN=JP 45026478 |       |                |
|     | S2             | 0     | PN=JP 45026478 |
| ? S | PN=41020153    |       |                |
|     | S3             | 0     | PN=41020153    |
| ? S | PN=42027596    |       |                |
|     | S4             | 0     | PN=42027596    |

B-345

? S PN=44006397

S1 0 PN=44006397

? S PN=JP 45026478

S2 0 PN=JP 45026478

? S PN=41020153

S3 0 PN=41020153

? S PN=42027596

S4 0 PN=42027596

B-351

? s pn=jp 42027596  
S2 0 PN=JP 42027596  
? s pn=jp 44006397  
S3 0 PN=JP 44006397  
? s pn=jp 45026478  
S4 0 PN=JP 45026478  
? s pn=jp 41020153  
S5 0 PN=JP 41020153  
? s pn=jp 55042752  
S6 1 PN=JP 55042752

## 皮革織物及び編物の製造方法

特 願 昭 40-36339  
 出 願 日 昭 40. 6. 16  
 発 明 者 吉崎秀夫  
 桜井市大字吉備177  
 出 願 人 株式会社吉崎工芸研究所  
 同 所  
 代 表 者 吉崎秀夫  
 代 理 人 弁理士 鎌田嘉之

## 図面の簡単な説明

第1図は本発明に用いる皮革紐の斜面図、第2図は本発明方法による織物の斜面図である。

## 発明の詳細な説明

本発明は細い紐状をした皮革紐の外側に丈夫な金属線条を螺旋状に巻き付けたものを用いて織物又は編物を組織したのち又は組織しつつ金属線条を抜き取ることを特徴とするものでその詳細を説明すれば次の通りである。

第1図の(1)は細長く裁断した皮革紐であり、その表面に金属線条2が螺旋状に巻付けられている。該紐の材料は表皮革銀面を取り去った皮革或は床革等であり、線条2はステンレス鋼、真鍮等の金属である。

上記の如く金属線条2を巻き付けた皮革紐1を

シャツトルのホビンに巻付けて緯糸とし、経糸にも同様のものを用いて織機によつて織物を形成すれば第2図の如き織物Aができ上るので、この織物Aの紐1から線条2のみを抜き取ると、紐1のみで織つたものと同様の織物が得られるのである。

又紐1を編機にかけて編物を編成することもできるものであり、この場合も編上つたものから金属線条を抜き取るものであり、又刺繍用としても用いられる。

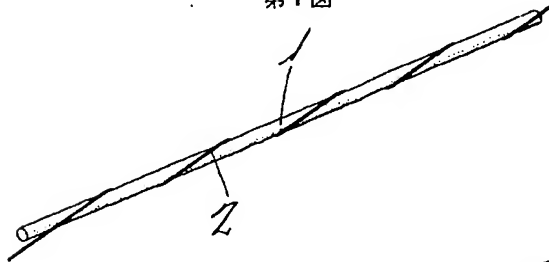
しかして組織が複雑で製織或は編成後においては線条が抜き取り難いものは組織構成作業中に順次引き抜いて行じようにしてもよい。

本発明は上記の通りであり、従来では弱くて機械による組織が不可能とされていた皮革紐を自動機によつて能率よく組織できるようにしたものであり、床皮や銀面を取つた皮、又は屑皮までを使用でき、短いものを接着剤で接合して長いものとして使用できるので甚だ経済的であり、各種の袋物や、敷物等の種々のものに適した織物や編物ができるものである。

## 特許請求の範囲

1 細い紐状をした皮革紐の外側に丈夫な金属線条を螺旋状に巻き付けたものを用いて織物又は編物を組織したのち又は組織しつつ金属線条を抜き取ることを特徴とする皮革織物及び編物の製造方法。

第1図



第2図

